

ボランティアセンターだより

207号
2026年2月

つながりワーカー養成講座

「つながりワーカー」って？

「つながりワーカー」とは、地域で孤立している人や孤独な人に気づき、つながり、見守る人たちのことです。年齢や性別、役職などは特に問いません。つながりワーカー養成講座を受けていただければ、どなたでもなることができます。「見守り」について、理解を深め、地域でのゆるやかな見守り活動を進めていきましょう。

「つながりワーカー養成講座」って、何をするの？

「地域での見守り」について、グループワークを取り入れ、受講者同士で話し合いながら進めていく参加型の講座です。高齢者や子ども・子育て世代が抱える課題などについて、実際の事例も交えながら、地域で暮らす方々の姿をより身近に感じていただける内容となっています。少しでも興味のある方、地域で孤立している人や孤独な人への寄り添い方を知りたい方など、どなたでも気軽にご参加ください。



事前申し込みが必要です。開催日の **1週間前** までにお申し込みください。

参加者募集

私たちにも
できるかしら

見守りって
何をすれば
いいの？



第1回

日時 ▶ 2月21日(土)

14:00~16:00

場所 ▶ 倭文地区公民館

第2回

日時 ▶ 3月2日(月)

10:00~12:00

場所 ▶ 八木地区公民館

第3回

日時 ▶ 3月11日(水)

14:00~16:00

場所 ▶ 湊地区公民館

赤い羽根
共同募金
助成事業

地域福祉 フォーラム2026

ひろがる居場所

つながる笑顔

3月7日(土) 13:30-15:30

会場：湊地区公民館 (南あわじ市湊75-1)



実践報告

「倭文永田邸 有形文化財にどう」

歴史がたぐ わくわくの空間

「阿万吹上町自治会」

まちの資源を活用した地域まるごと居場所づくり

ファシリテーター

武庫川女子大学教授
松嶋亮文氏



市内には、ふれあい・いきいきサロンや百歳体操のほか、公会堂や自宅を活用した自分らしさを発見できる場など多様な思いが込められた「居場所」が広がっています。

今回のフォーラムでは、こうした「居場所」の魅力や、地域にもたらす力に注目し、地域のつながりを深め、誰もが安心して暮らせるまちづくりについて共に考えます。



申込は社協まで。
専用フォームも
ご利用ください

地域福祉フォーラムは、地域のすべての方々が対象です。お誘いあわせの上、ご参加ください。



【発行】南あわじ市社会福祉協議会

〒656-0122 南あわじ市広田広田 1064

【電話】44-3007 【FAX】44-3037

【メール】info@minamiawaji-shakyo.or.jp



@MINAMIWAZI_SHAKYO



@FLAT_HOUMU



南あわじ市社会福祉協議会 生活支援コーディネーターだより

登録サロン数
93 か所
(R8.1月現在)



幡多の青空市—売ること以上に、大切な場所—



幡多の朝市
来てみ～や



幡多の青空市は、複列上幡多にある地域の直売市です。出荷者は 20～30 人ほどで、店頭には玉ねぎやお米、朝採れの新鮮な野菜や果物のほか、衣服や手作り品、おみやげ物も並びます。ここでは出荷者が自分で値段を決め、バーコードを付けて並べます。「4 個 100 円と 5 個 120 円、どちらが売れるかな？」と考えるやりとりは、頭の体操になり、次に何を作ろうかという意欲にもつながっているそうです。

出荷の目的は収入だけではありません。「おこづかいより生きがい」「認知症予防になっている」と話す人もいます。90 代の男性は朝一番に出荷し、夕方には売れ行きをチェック。他店の価格を観察しながら、自分で値段を決めることを楽しんでいます。家族も「もうやめとけ」ではなく、「まだ頑張れ」と応援してくれています。お店に入ると、「こんにちは」とあいさつを交わし、レジでは自然に会話が生まれます。たとえば「玉ねぎ欲しいんだけどある？」と聞かれ、なければ出荷者へ連絡して「畑から取ってくるわ」と対応してくれることも。採れたての野菜が手に入る、あたたかい場所です。売る場所であり、学ぶ場所であり、語り合う場所。幡多の青空市は、今日もそれぞれの物語が並んでいます。

営業時間：9時～17時まで ほぼ毎日開いています♪



スノードームと笑顔の花あふれる

12 月 23 日、パントリー食材配布を行い、食材の提供とクリスマスに合わせて参加者同士が交流できる「スノードーム工作教室」も同時開催しました。

キラキラのパーツを前に、大人も子どもも真剣な表情。気がつけば会場は静か…かと思いきや、「それ可愛い!」「それ、どうやって作ったん?」と、あちこちで会話の花が咲いていました。

完成したスノードームを振っては笑顔、振ってはもう一度ニッコリ。地域のボランティアの皆さんの協力もあり、参加された方からは「久しぶりに工作したけど楽しかった」「家に帰ってから飾ります」と、うれしい声がたくさん聞かれ、大盛況となりました。

食材と一緒に少しのワクワクと笑顔を持ち帰ってもらえた、そんなあたたかなひとときになりました。



★ふれあい・いきいきサロン活動のご相談は、生活支援コーディネーターへ★
南あわじ市社会福祉協議会 ☎ 0799-44-3007

